

事業名：一般国道21号関ヶ原バイパス

意見・質問	回答
<p>・大雪時の通行規制に関して、最大勾配6.1%のところが4.4%となることで、効果が期待できるのでしょうか。さらに抜本的な対策はないのでしょうか。</p>	<p>検討段階ではありますが、トンネル構造とする事で大雪時のスタック等への対策として期待出来ると考えております。                  なお、4.4%は山中峠を回避する未整備区間の縦断勾配ではなく、関ヶ原バイパスの既供用区間の縦断勾配を記載しております。</p>
<p>・費用対効果分析において、事業全体の費用が増えていることについて、もう少し詳細を教えてください。</p>	<p>・社会的割引率とは、時間軸上の価値を補正するもので、同じ財の現在と将来の交換比率です。将来の費用（効果又は便益）と現在の費用（効果又は便益）は実質的な価値が異なり、現在の費用（効果又は便益）に比べ将来の費用（効果又は便益）の価値が低いものとしています。                  ・社会的割引率により現在価値化すると過去に向かって高く算定され、将来に向かって低く算定されます。                  ・関ヶ原バイパスにおいては、過去に投資した事業費が前回評価の基準年次（平成29年度）から今回評価の基準年次（令和4年度）までの5年間分、高く算定された事で、事業全体の費用が増えています。</p>

事業名：一般国道153号伊駒アルプスロード

意見・質問	回答
<p>・説明資料の1から3頁の地図には伊那西部広域農道の一部は描かれていますが、伊那中部広域農道が示されていません。今回の対象区間では幹線道路として多くの車に利用されていますが、示しておく必要はないのでしょうか。</p>	<p>・伊那広域農道について、説明資料の地図に追記致します。</p>

事業名：富士山直轄砂防事業

意見・質問	回答
<p>・中期計画の目標ではまだ、全体から見た被害軽減効果があまり大きくないように思えます。事業範囲が広く、困難な条件があると思いますが、最終的な目標と、その達成までの期間はどのように考えているのでしょうか。</p>	<p>・最終的な目標につきましては、説明資料P7の「全体計画の目的・目標」の記載の通りです。                  ・その達成までの期間につきましては、噴火対応事業は想定される規模も大きく、火山噴火に起因する土砂災害などに対して人的・財産被害を解消するという富士山の砂防事業の最終的な目標の達成に向けて、現段階で具体的な期間を申し上げることはできません。</p>
<p>・重要施設の整備優先順位を決める時に 地元自治体とどのような調整を行っているのでしょうか。                  ・要配慮者利用施設は、新設等で変わってくると思うが、事業の効果には どのように反映されるのでしょうか。</p>	<p>・行政委員として山梨県と静岡県も参画している富士山火山砂防計画検討員会の中で、防災拠点等の公共施設に対して優先的に整備することなど対策方針・優先度を確認して頂いています。                  ・5年ごとの事業再評価のタイミングで資産や施設については最新のデータに更新し、効果の再算定を行うこととしております。</p>